

題目	年	月	号	合本巻数	合本頁数
釧路市郷土博物館全景	1952	1	1	1	1
貝桶（シントコ）	1952	2	2	1	9
水桶（ワッカコンカ）	1952	3	3	1	17
縄文土器（釧路市緑ヶ岡出土）	1952	4	4	1	25
着物（かばらちみっふ）	1952	5	5	1	33
着物（アッシ）	1952	6	6	1	41
着物（かばらちみっふ）	1952	7	7	1	49
着物（ちからかるべ）	1952	8	8	1	57
みみたらい（パッチ）	1952	9	9	1	65
つのたらい（テコロパッチ）	1952	10	10	1	73
あしか	1952	11	11	1	81
丸型外居（クドシントコ）	1952	12	12	1	89
鶴（竹内栖鳳筆）	1953	1	13	1	97
蝦夷錦	1953	2	14	1	105
蝦夷錦	1953	3	15	1	113
脚付行器（シントコ）	1953	4	16	1	121
おさがめ	1953	5	17	1	129
土俗品（えぶたかむ）	1953	6	18	1	137
夢の花－睡蓮、おっとせい	1953	7	19	1	145
ひぐま、尾長ザル	1953	8	20	1	153
秋の味覚	1953	9	21	1	161
阿寒国立公園内阿寒湖、屈斜路湖	1953	10	22	1	169
摩周湖	1953	11	23	1	177
はんざき	1953	12	24	1	185
馬（佐々木栄松画）	1954	1	25	2	1
おおこのはづく	1954	2	26	2	9
明治二十二年架橋竣工の愛北橋	1954	3	27	2	17
釧路市幣舞橋の図（佐々木英松画）	1954	4	28	2	25
釧路市春採太平洋炭礦坑内発見の化石	1954	5	29	2	33
屈斜路古丹熊送り	1954	6	30	2	41
屈斜路湖畔で行われた熊祭り	1954	7	31	2	49
蟬が老人に化けた伝説（佐々木英松画）	1954	8	32	2	57
明治四十四年当時の釧路郵便局附近	1954	9	33	2	65
大正十一年四月当時の局舎	1954	10	34	2	73
昭和二十九年現在の郵便局の写真	1954	11	35	2	81
マガレイ	1954	12	36	2	89
タンチョウ	1955	1	37	2	97
ナメタガレイ	1955	2	38	2	105
押型文土器	1955	3	39	2	113
昭和二十九年建設された新局舎	1955	4	40	2	121
タンチョウのヒナ	1955	5	41	2	129
タンチョウ	1955	6	42	2	137
雌雄のタンチョウが空高く舞い遊んでいる雄姿	1955	7	43	2	145
タンチョウの気管	1955	8	44	2	153
捕鯨船	1955	9	45	2	161
北海道阿寒高等学校	1955	10	46	2	169
アイヌの古式舞踊	1955	11	47	2	177
有孔虫	1955	12	48	2	185

題目	年	月	号	合本巻数	合本頁数
行器（ほかい）	1956	1	49	3	1
厚岸酋長イコトイの肖像	1956	2	50	3	9
壺型土器	1956	3	51	3	17
松浦武四郎著久摺日誌	1956	4	52	3	25
松浦武四郎著久摺日誌	1956	5	53	3	33
営巣の中に孵化された青鷺の雛	1956	6	54	3	41
現在の日進校（昭和31年現在）	1956	7	55	3	49
釧路英和女学校	1956	8	56	3	57
和琴半島	1956	9	57	3	65
阿寒町和琴博物館	1956	10	58	3	73
釧路文化祭考古学資料展示会に於ける会場案内	1956	11	59	3	81
ろう学校々舎全景	1956	12	60	3	89
釧路原野に棲息する特別天然記念物丹頂鶴の舞い姿	1957	1	61	3	97
釧路市富士見坂新設工事竣工道路上より眺望	1957	2	62	3	105
標茶で発見された高師小僧	1957	3	63	3	113
55円通常郵便切手（まりも）	1957	4	64	3	121
釧路原野に棲息する丹頂鶴の生態標本	1957	5	65	3	129
桂恋海岸に於ける銀杏草採取の光景	1957	6	66	3	137
摩周湖	1957	7	67	3	145
厚岸海岸に於けるオゴノリ採集舟の光景	1957	8	68	3	153
秋の味覚阿寒湖の姫鱒	1957	9	69	3	161
釧路市知人町海岸付近（岩石）	1957	10	70	3	169
釧路市知人町海岸付近（岩石）	1957	11	71	3	177
シシャモ	1957	12	72	3	185
厚岸郡浜中村ポンポロト海岸崖において発見せるアンモナイト化	1958	1	73	4	1
厚岸郡浜中村ポンポロト海岸に於て発見せるアンモナイト化石の	1958	2	74	4	5
空から見た摩周岳と摩周湖及び中島	1958	3	75	4	9
屈斜路湖和琴キャンプ場	1958	4	76	4	13
釧路市幣舞出土の土器	1958	5	77	4	17
釧路市平原の地形と泥炭層の深度（厚さ）分布	1958	6	78	4	21
タンチョウの生態標本	1958	7	79	4	25
立ってすんでいるカキ	1958	8	80	4	31
定光寺の庭前にある梵鐘	1958	9	81	4	35
コアホウドリ	1958	10	82	4	39
東釧路貝塚付近略図	1958	11	83	4	45
東釧路貝塚付近道路工事に伴う発掘スナップB地区	1958	12	84	4	51
館員一同	1959	1	85	4	55
東釧路貝塚発掘スナップ	1959	2	86	4	63
風蝕風景	1959	3	87	4	71
倒壊した弟子屈町奥春別農家のサイロ	1959	4	88	4	79
朝陽小学校全景	1959	5	89	4	87
クマガウの幼鳥	1959	8	92	4	111
直別出土の出器	1959	9	93	4	119
幣舞出土の出器	1959	10	94	4	126
釧路古代文化展会場スナップ	1959	11	95	4	134
塘路湖に於けるベカンベ採集の乙女	1959	12	96	4	142
阿寒町官庁周辺の山野上空を雄飛する丹頂鶴の群れ	1959	1	97	4	150
南側から見たモシリヤチャシコツ	1959	2	98	4	159

題目	年	月	号	合本巻数	合本頁数
釧路雪まつりに行われた熊まつり風景	1960	3	99	4	167
丹頂鶴雪上の乱舞	1960	4	100	4	175
丹頂鶴の誕生	1960	5	101	5	1
塘路湖のオオハクチョウ	1960	6	102	5	9
アカトドマツの花粉	1960	7	103	5	17
釧路市鳥取昭和地区の植物群落	1960	8	104	5	25
襟裳岬沖産セイウチ（頭骨、牙）化石	1960	9	105	5	33
夏の城山町スケートリンク全景	1960	10	106	5	41
上空から見た釧路	1960	11	107	5	49
埋められてゆく泥炭池沼	1960	12	108	5	57
おたのしけの砂丘に咲くはまなす	1960	1	109	5	65
釧路市益浦付近の海岸台地ならびに台地草原	1960	2	110	5	73
6月上旬におけるかつ葉樹林の林床	1961	3	111	5	81
江別VI 2号墳男性頭蓋（左）とオノコロマナイ I A 男性頭蓋（右）	1961	4	112	5	89
緋鮒の棲息地春採湖	1961	5	113	5	97
オタノシケの砂丘に咲くエゾカンゾウ	1961	8	114・115	5	113
春採台地竪穴群と春採湖	1961	9	117	5	125
リクゼンイルカ	1961	10	118	5	133
11月17日北海道知事町村金五氏が来館	1961	11	119	5	141
原野の葦中に営巣せる丹頂鶴の卵	1962	1	121	6	1
東釧路貝塚発見の住居址	1962	2	122	6	9
東釧路貝塚発見の墓墳	1962	3	123	6	17
縄文早期沼尻式土器	1962	4	124	6	25
縄文早期沼尻式土器	1962	5	125	6	33
バチスカーフ号	1962	6	126	6	41
釧路港の築港前後の砂浜の変化	1962	7	127	6	49
高山帯の岩場に咲くイワウメ（羅臼岳）	1962	8	128	6	57
海岸の砂地にはうガンコウラン	1962	9	129	6	65
ムックリを吹く老婆	1962	10	130・131・132	6	73
縄文早期東釧路Ⅲ式土器	1963	1	133	6	95
「釧路の自然と文化財を訪ねて」講演会スナップ	1963	3	134・135	6	103
霧笛の台とラッパ	1963	4	136	6	121
ロマンスただよクロユリの花	1963	6	138	6	137
オタノシケの植物群落	1963	7	139	6	145
チャランケチャシにある釧路港修築記念碑	1963	11	142・143	6	161
竜の描かれた切手	1964	1	145	7	1
丹頂鶴のひな	1964	7	150	7	41
雲	1965	3	157・158	7	89
東釧路貝塚最下層に現われたテンネル式土器の時期の住居跡	1966	6	171・172・173	8	9
東釧路貝塚出土の人骨	1967	12	190・191	8	109
博物館全景	1969	7	200	9	101
博物館職員一同	1970	1	201	10	1
カナダヅル	1970	2	202	10	9
エゾモンガ	1970	5	204	10	24
タンチョウの抱卵	1970	7	205	10	37
ハシドイの花	1970	9	206	10	49
オオコノハズク	1970	11	207	10	61

題目	年	月	号	合本巻数	合本頁数
タンチョウ	1971	1	208	10	74
東釧路遺跡第1地点	1971	3	209	10	86
アトリの群れ	1971	5	210	10	97
クマゲラ	1971	7	211	10	109
ヒグマ	1971	9	212	10	121
釧路湿原	1971	12	213	10	133
タンチョウとクロヅル	1972	1	214	11	1
トド	1972	3	215	11	13
オオハム	1972	5	216	11	24
シマフクロウ	1972	7	217	11	35
シラルトロ沼調査	1972	9	218	11	49
キタサンショウウオ	1972	11	219	11	61
タンチョウ	1973	1	220	11	71
エトロフウミスズメ	1973	3	221	11	83
草地に遊ぶエゾシカ	1973	5	222	11	95
クシロハナシノブ	1973	7	223	11	106
炭化した屋根材（縄文中期）	1973	9	224	11	119
ミツユビカモメ	1973	11	225	11	131
エゾウバユリ・ユリ科	1974	1	226	12	1
流氷	1974	3	227	12	13
ミズバショウ	1974	5	228	12	25
ヒメシャクナゲ	1974	7	229	12	37
エゾウスユキソウ	1974	9	230	12	49
偏形樹	1974	11	231	12	61
えびのしっぽ（雪氷）	1975	1	232	12	73
ムシトリスミレ（タヌキモ科）	1975	3	233	12	85
フキ（キク科）	1975	5	234	12	97
ヨツバシオガマ	1975	7	235	12	109
ミツユビカモメ	1975	11	236	12	121
オオセグロカモメ	1976	1	237	12	133
ヤドリギ	1976	3	238	12	145
ウミアイサ	1976	5	239	12	159
メアカンキンバイ	1976	9	240・241	12	171
ミヤマカケス	1976	11	242	12	195
もちつき大会	1977	1	243	13	1
新装なった幣舞橋	1977	3	244	13	13
凍結した釧路川を下る	1977	5	245	13	25
イワヒゲ（ツツジ科）	1977	7	246	13	37
オオバン	1977	9	247	13	49
霜柱	1977	11	248	13	61
エゾノリュウキンカ（キンポウゲ科）	1978	1	249	13	73
東釧路第3遺跡発掘調査の状況	1978	3	250	13	85
湿原の春	1978	5	251	13	97
釧路港實業家銘鑑明細全圖	1978	7	252	13	109
続縄文文化期の墓	1978	9	253	13	121
秋の釧路湿原めぐり	1978	11	254	13	133
博物館セミナー「春採湖」	1979	1	255	14	1
尾岱沼のオオハクチョウ探鳥会	1979	3	256	14	13

題目	年	月	号	合本巻数	合本頁数
遺跡探訪会	1979	5	257	14	25
留真温泉探鳥会	1979	7	258	14	37
根室市長節沼の魚類調査	1979	9	259	14	49
地形・地質観察会	1979	11	260	14	61
冬の春採湖	1980	1	261	14	73
アトリ	1980	3	262	14	85
ふきのとう（フキ）	1980	5	263	14	105
ハクサンチドリ（ラン科）	1980	7	264	14	117
チャランケチャシコツ	1980	9	265	14	128
オオカサモチ（セリ科）	1980	11	266	14	141
タンチョウ	1981	1	267	15	1
天然記念物「釧路湿原」（国指定）	1981	3	268	15	13
ヤチボウズ（谷地坊主）	1981	5	269	15	25
佐野家文書	1981	7	270	15	37
円空作 仏像薬師像	1981	9	271	15	49
国指定史跡 東釧路の貝塚	1981	11	272	15	61
霧氷に飾られた谷地坊主	1982	1	273	15	73
アオサギのコロニー	1982	3	274	15	85
人工ふ化で成長したイトウ	1982	5	275	15	97
オタノシケの馬市（部分） 大正14年	1982	7	276	15	109
風雪の樹・イチイ	1982	9	277	15	121
エゾコリンゴ（バラ科）	1982	11	278	15	133
湿原の朝	1982	1	279	16	1
カラマツの穂果（マツ科）	1982	3	280	16	13
アマサギ	1982	5	281	16	25
釧路市立郷土博物館全景	1982	7	282	16	37
釧路市立郷土博物館	1982	9	283	16	49
釧路市立博物館全景	1982	11	284	16	61
テープカット	1984	1	285	16	73
国指定史跡「春採台地竪穴群」から博物館を望む	1984	3	286	16	85
霧につつまれた博物館	1984	5	287	16	97
博物館全景	1984	7	288	16	109
博物館遠景	1984	9	289	16	121
冬の春採湖	1984	11	290	16	133
マンモス（展示室）	1985	1	291	17	1
トドとアザラシ（展示室）	1985	3	292	17	13
釧路の先史時代（展示室）	1985	5	293	17	25
霧笛と川崎船（展示室）	1985	7	294	17	37
幣棚（展示室）	1985	9	295	17	49
タンチョウ（展示室）	1985	11	296	17	61
冬の春採湖	1986	1	297	17	73
エゾシカ	1986	3	298	17	85
初夏の春採湖	1986	5	299	17	97
空撮釧路市立博物館（カラー）	1986	7	300	17	107
秋の春採湖	1986	9	301	17	129
冬の春採湖	1986	11	302	17	141
冬の釧路湿原	1987	1	303	18	1
キラコタン崎	1987	3	304	18	13

題目	年	月	号	合本巻数	合本頁数
初夏のミズゴケ湿原	1987	5	305	18	25
ミツガシワ群落（コッタロ湿原）	1987	7	306	18	37
釧路湿原キラコタン岬	1987	9	307	18	49
岩保木から見た釧路湿原	1987	11	308	18	61
釧路市毘沙門3遺跡	1988	1	309	18	73
釧路市三津浦古谷遺跡	1988	3	310	18	85
釧路市三津浦2遺跡	1988	5	311	18	97
釧路町天寧1遺跡	1988	7	312	18	109
釧路市材木町5遺跡	1988	9	313	18	121
釧路町テンネル北チャシ	1988	11	314	18	133
春採台地竪穴群と春採湖の御神渡し	1989	1	315	19	1
北斗遺跡	1989	3	316	19	13
釧路町遠矢第1チャシ跡	1989	5	317	19	25
釧路市山花遺跡	1989	7	318	19	37
幣舞遺跡	1989	9	319	19	49
阿寒町ボンタッコブチャシ跡	1989	11	320	19	61
旧田村邸 米町ふるさと館	1990	1	321	19	なし
マリン・トボスクしろ	1990	3	322	19	84
釧路市湿原展望台	1990	5	323	19	96
釧路市丹頂鶴自然公園	1990	7	324	19	108
炭鉱展示館	1990	9	325	19	121
鳥取百年館	1990	11	326	19	133
久本春雄作「鶴葦原」	1991	1	327	20	1
海跡湖－塘路湖－	1991	3	328	20	13
アオサギ	1991	5	329	20	25
カキツバタ	1991	7	330	20	37
ミヤマアカネ	1991	9	331	20	49
ザリガニ	1991	11	332	20	61
冬の二本松	1992	1	333	20	73
コゲラ	1992	3	334	20	85
クシロワチガイソウ	1992	5	335	20	97
クロバナロウゲ	1992	7	336	20	109
オオジシギ	1992	9	337	20	121
釧路湿原	1992	11	338	20	133
冬の春採湖	1993	1	339	21	1
コッタロ湿原	1993	3	340	21	13
5月下旬のコッタロ湿原	1993	6	341	21	25
夏の釧路湿原	1993	9	342	21	37
朝霧の釧路湿原	1993	12	343	21	49
ヌマオロ川	1994	3	344	21	61
達古武沼	1994	6	345	21	73
大黒島	1994	9	346	21	85
初冬の阿歴内川	1994	12	347	21	97
冬の春採湖畔の遊歩道	1995	3	348	21	109
春の阿寒川	1995	4	349	22	1
湯の滝のエゾシカ	1995	7	350	22	13
紅葉のシュンクシタカラ川	1995	10	351	22	25
飽別川上流部	1996	1	352	22	37

題目	年	月	号	合本巻数	合本頁数
キタミフクジュソウ	1996	4	353	22	49
5月下旬の釧路湿原	1996	7	354	22	61
秋の塘路湖	1996	10	355	22	73
温根内の高層湿原	1997	1	356	22	85
冬のチルワツナイ川	1997	4	357	22	97
岩保木山から見た釧路湿原	1997	8	358	22	109
春採湖畔の観音像	1997	11	359	22	121
冬の野付半島トドワラ	1998	1	360	22	133
春採湖畔のオオルリ	1998	5	361	23	1
貝細工のある柱時計	1998	8	362	23	1
春採湖畔の秋	1998	10	363	23	1
蝦夷錦	1999	1	364	23	1
オートバイ・キャブトンVB1	1999	5	365	23	1
塘路湖のエゾノミズタデ	1999	8	366	23	1
博物館から見た夕日	1999	12	367	23	1
春採湖に飛来したオオハクチョウ	2000	2	368	23	1
降雪57cm！	2000	5	369	23	1
春採湖畔のシコタンタンポポ	2000	8	370	23	1
ヨシの穂	2000	11	371	23	1
冬の春採湖	2001	2	372	23	1
春採湖畔のバイケイソウ	2001	5	373	24	1
春採湖のオオバンの親子	2001	9	374	24	1
秋のチャランケチャシ	2001	11	375	24	1
春採湖畔の雪景色	2002	3	376	24	1
春採湖畔のミドリニリンソウ	2002	6	377	24	1
チャランケチャシの前のホオノキ	2002	9	378	24	1
春採湖のヨシ	2003	1	379	24	1
雪解けの春採湖畔	2003	3	380	24	1
春採湖畔の小さな沢	2003	5	381	24	1
春採湖畔の沢	2003	8	382	24	1
春採湖の晩秋	2003	11	383	24	1
結氷した春採湖	2004	3	384	24	1
春採湖畔のウラホロイチゲ	2004	5	385		
春採湖畔のミヤマザクラ	2004	8	386		
初冬の春採湖畔	2004	12	387		
春の春採湖畔のヨシ	2005	3	388		
博物館横のサクラ	2005	5	389		
春採湖畔の散策路	2005	8	390		
春採湖畔のオオツリバナ	2005	11	391		
春採湖面の氷紋	2006	3	392		
標茶町のキタミフクジュソウ	2006	5	393		
市内の貯炭場	2006	8	394		
晩秋の春採湖畔のカラマツ	2006	12	395		
冬の博物館前景	2007	3	396		
エゾヤマザクラ	2007	6	397		
秋の北斗遺跡のミズナラ	2007	11	398		
3月の春採湖面の氷紋	2008	3	399		
春採湖畔のミズナラ	2008	9	400		

題目	年	月	号	合本巻数	合本頁数
春採湖畔のミズナラ・その2	2008	12	401		
春採湖畔のミズナラ・その3	2009	3	402		
春採湖畔のミズナラ	2009	11	403		
春採湖のカワアイサ	2010	1	404		
3月の春採湖畔	2010	3	405		
釧路埼灯台	2011	2	406		
太平洋炭砒絵葉書集第二輯「春採湖畔進行中ノ臨港鉄道」	2011	3	407		
国指定史跡チャランケチャシ	2011	9	408		
ウライエチャシ跡	2012	3	409		
東釧路貝塚の発掘調査に参加する高校生	2012	9	410		
太平洋炭砒と社宅・持ち家	2013	3	411		
古釜布湿原	2013	9	412		
釧路臨港鉄道キハ1001	2014	3	413		
阿寒国立公園の観光地図	2014	9	414		
阿寒硫黄鉱山の採鉱作業	2015	3	415		
戦時中、金属回収令で集められた金属	2015	9	416		
「ハーバリウム霧多布」で採集した植物標本	2016	3	417		
釧路湿原に生息するクイナ	2016	9	418		
簡易軌道標茶線（標茶町営軌道）の自走客車と下車する乗客	2017	3	419		
海辺の砂浜に生えるスゲ、エゾノコウボウムギ	2017	9	420		
アイヌ民族木綿衣（色裂置文衣）	2018	3	421		
昆虫細密画「イイジマルリボシヤンマ」（田中眞理氏）	2018	9	422		
昭和39年（1964年）の幣舞橋	2019	3	423		
カラスのつがい	2019	9	424		
アイヌ角盆	2020	3	425		
語らう庫内手たちの背中	2020	9	426		
結氷した春採湖	2021	3	427		
オオヨシゴイ	2021	9	428		
日本製紙釧路工場とキハ40	2022	3	429		
釧路市天然記念物キタサンショウウオ	2022	9	430		
アイヌ古式舞踊公演@博物館	2023	3	431		
アイヌキンオサムシ	2023	9	432		
建設中の釧路市立博物館	2024	3	433		
音別神社の稲荷社	2024	9	434		
三世代で製作を受け継いできたムックリ	2025	3	435		
ショウドウツバメの巣	2025	9	436		